

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年5月9日(2025.5.9)

【国際公開番号】WO2024/053440

【出願番号】特願2024-545572(P2024-545572)

【国際特許分類】

C 0 8 L 8 3 / 0 7 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 L 8 3 / 0 5 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 K 3 / 0 1 3 (2 0 1 8 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 L 8 3 / 0 7

C 0 8 L 8 3 / 0 5

C 0 8 K 3 / 0 1 3

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月26日(2025.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 下記(A-1)~(A-3)成分を含むオルガノポリシロキサン；

(A-1) 分子鎖の両末端にのみアルケニル基を有する生ゴム状オルガノポリシロキサン

(A-2) 分子鎖の両末端及び側鎖にアルケニル基を有する生ゴム状オルガノポリシロキサン

(A-3) 1分子中に2個以上のアルケニル基を有する25で液状のオルガノポリシロキサン

30

を含むアルケニル基を有する直鎖状オルガノポリシロキサン：100質量部

(B) 下記(B-1)及び(B-2)成分を含むオルガノハイドロジェンポリシロキサン；

(B-1) 分子鎖の側鎖にのみヒドロシリル基を有し、かつ1分子中に2~5個のヒドロシリル基を有するオルガノハイドロジェンポリシロキサン

(B-2) 1分子中に2個以上のヒドロシリル基を有し、そのうちの2個のヒドロシリル基を分子鎖の末端に有するオルガノハイドロジェンポリシロキサン

を含むオルガノハイドロジェンポリシロキサン：前記(A)成分中のアルケニル基の合計量1モルに対して、(B)成分中のヒドロシリル基の合計量が0.5~4.0モルとなる量

40

(C) 熱伝導性フィラー：150~2,400質量部

(E) 付加反応触媒：白金族金属原子質量換算で、0.01~1,000ppmとなる量

(F) 付加反応制御剤：有効量

を含むものであることを特徴とする熱伝導性ミラブル型シリコンゴム組成物。

【請求項2】

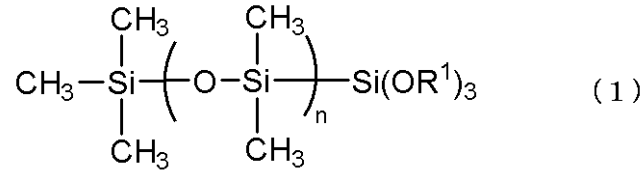
前記(C)成分中に含まれる粒径45μm以上の粒子の割合が5質量%以下であることを特徴とする請求項1に記載の熱伝導性ミラブル型シリコンゴム組成物。

【請求項3】

さらに(D)ウエッター成分として下記式(1)で示される片末端トリアルコキシシリル基変性ポリシロキサン：5~100質量部

50

【化 1】



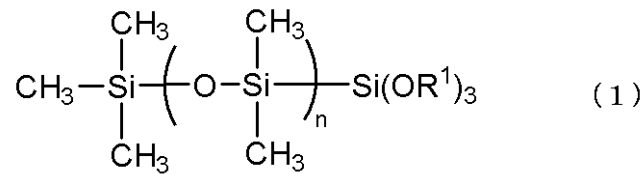
(式中、R¹は炭素数1～6のアルキル基であり、nは5～100の整数である。)を含むものであることを特徴とする請求項1に記載の熱伝導性ミラブル型シリコンゴム組成物。

10

【請求項 4】

さらに(D)ウエッター成分としての下記式(1)で示される片末端トリアルコキシシリル基変性ポリシロキサン：5～100質量部

【化 2】



20

(式中、R¹は炭素数1～6のアルキル基であり、nは5～100の整数である。)を含むものであることを特徴とする請求項2に記載の熱伝導性ミラブル型シリコンゴム組成物。

【請求項 5】

請求項1から請求項4のいずれか1項に記載の熱伝導性ミラブル型シリコンゴム組成物の硬化物と網目状補強材を含むものであることを特徴とする熱伝導性シート。

【請求項 6】

前記網目状補強材が目止めされたものであることを特徴とする請求項5に記載の熱伝導性シート。

30

40

50